

南会津教育事務所 令和5年度 学校教育 指導の重点

南会津が目指す教育の基本理念

自立と共生～南会津がつむぐ『南会津ならではの』の学校教育～より

「自ら学ぶ子供の育成リーフレット」の8つのポイントを生かした授業改善

要請訪問等で、先生方の授業を多く参観させていただきましたが「自ら学ぶ子供の育成 8つのポイント」を意識して行っている授業が多く見られました。

特に、ペアやグループ学習の場面において、補足資料3「『ペア学習』・『グループ学習』のイメージ」を活用し、自ら学ぶ力を育む場を意図的に設定し、子供に「委ね・任せる」ことを意識した授業が展開されていました。

また、ICTの活用場面を意図的に設定している授業は、子供たちの主体的な学びを促すことにもつながることが明らかになってきましたが、ICTの活用推進は、域内の喫緊の課題です。6月27日(火)の「ふくしま『未来の教室』授業充実事業」第1回地区別研究協議会では、「対話と協働をキーワードにしたICTの活用と一人一人の学びの質的向上を図る」ことをテーマに、子供の学びの質を高める効果的なICTの活用場面について情報交換しました。2月に第2回地区別研究協議会を行い、先進校の取組や教科指導の事例紹介等を行う予定です。

8月23日(水)には、「学級・授業づくりセミナー」において、「小学校でも中学校でも、明日から活用できるICT活用入門」講座を行います。普段の授業から積極的にICTを活用して、主体的で協働的な学びにつなげていきましょう。



【地区別研究協議会の様子】

大切にしたい「8つのポイント」

- | | |
|----------------------|------------------------------|
| ① 子供の学びの姿をイメージする | ⑤ 子供の聞き合う力を高める |
| ② 反応やつばやさを拾う | ⑥ 「卓球型」から「バレーボール型」で話し合う力を高める |
| ③ 子供のつまづきに寄り添う | ⑦ アウトプットする場を設定する |
| ④ 複式学級の指導形式のよさを取り入れる | ⑧ 学び方のよさを実感させる |

道徳教育重点目標の設定と指導内容の重点化

南会津教育事務所では、「児童生徒、学校や地域の実態を踏まえた道徳教育重点目標の設定と指導内容の重点化」を推進しています。右図をご覧ください。これは年間35時間(小1は34時間)から各学年の内容項目数19～22を引いた13～16時間が重点内容項目の時数として配当できることを示しています。各校の実態から指導内容の重点化を図り、子供の心に響く道徳教育を推進していきましょう。

域内では、南会津中学校が道徳教育推進校になっています。9月27日(水)には、秋田公立美術大学の毛内嘉威副学長による師範授業を校内研修として行います。また、12月7日(木)には同校で「道徳教育地区別推進協議会」を開催し、「自他を大切に、心を豊かにする生徒の育成」をテーマに授業研究・研究協議を行います。今後も域内の道徳教育の充実に向けた取組について学校教育課だよりで情報発信していきますので、ぜひご覧ください。



健康マネジメント能力を育むための組織的・総合的な指導・取組の重点

体育科・保健体育科の目標は「体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け(発見し)、その(合理的な)解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質能力を育成する」ことです。

4月21日(金)に開催した「小・中・高等学校体育担当者連絡協議会」では、「ふくしまっ子健康マネジメントプラン」について説明があり、自分の心身の状態を知り、課題解決に向けた取組を考え、実行する「自己マネジメント能力」の育成に向けた「自分手帳」の活用について確認しました。

8月2日(水)には、「体育・保健体育指導力向上研修」を開催します。講義や実技を通して「する・みる・支える・知る」という体育の見方・考え方を働かせた授業づくりや、体力、技能、性別、障がい等の様々な違いを超えて運動やスポーツの楽しみ方を共有する授業づくりについて学びます。各校での伝達講習及び体育科・保健体育科授業における実践をお願いします。



【心と体を一体とした育成】

「地域で共に学び、共に生きる教育」を推進する特別支援教育

子供一人一人の学びの状況をじっくりと見取ることができる強みは、一方で、教師の先回りの指示や支援につながってしまう可能性があります。支援を要する子供への先回りした過剰な支援は、長期的な視点で考えると自ら支援を依頼する力が育たず、社会で適応が困難になるといった課題もあるのが現状です。

そこで、「卒業後の自立と社会参加を見据えた適切な指導や支援の実施」が重要になります。

社会に出るときに、「どのような姿になっていきたいか」について本人、保護者と一緒に夢を膨らませてください。その姿に向けて、卒業までに「自分でできるようになること」「周囲の支援が必要なこと」を整理します。そして、今、必要な指導と支援を考えます。それが、教育的ニーズの整理をすることです。

大切なのは「どうなりたいか」「どんな支援だとういかに」を本人に相談、確認することです。また、子供自身で乗り越えられる適度な目標を設定し、課題を準備することが必要です。ぜひ、学校卒業後を見据えるという視点で、日頃のかかわりを振り返る機会をつくっててください。

先回りして支援しすぎてしまう“芝刈り機先生”になっていませんか？
子供の成長の機会を大切に！



【地区別校長会の様子】

「学校卒業後を見据えた指導」について、小・中・高の校長先生方がそれぞれの取組の連携などについて話し合いました。

南会津教育事務所 令和5年度 社会教育 推進の重点

南会津が目指す教育の基本理念

自立と共生～南会津がつむぐ『南会津ならではの』の社会教育～より

社会教育課では、目指す教育の基本理念「自立と共生」に基づいた各種事業を推進し、情報発信しております。今年度は特に「地域学校協働活動」「読書活動」「放課後子ども教室活動」を柱に各校を訪問し、生き生きとした子供たちの姿を中心に、南会津のよさを活かした特色ある取組を域内外に広めていきたいと考えております。

6月26日(月)に檜枝岐小中学校で開催された親子の学び応援講座では、村の事業所に勤務されている方を講師にお迎えして、郷土理解と郷土愛につながる親子の学び講演会を開催しました。顔の分かる地元の方による講話は、子供だけでなく保護者にとっても新たな学びのある有意義な内容でした。今後も南会津のよさが感じられる特色ある教育活動の取材と情報発信に努めて参ります。訪問取材に御理解と御協力をお願いします。



【地域学校協働活動:荒海小】



【読書活動:江川小】



【親子の学び応援講座:檜枝岐小中】

今後開催予定の研修会等

どなたでも参加可能です
お気軽にお申し込みください

- ◇ 8月5日(土) 御蔵入交流館 家庭教育支援者南会津地区研修会
- ◇ 8月22日(火) 御蔵入交流館 読書活動支援者育成南会津地区研修会
- ◇ 9月2日(土) 御蔵入交流館 ビブリオバトル福島県大会会津予選大会

8/5 家庭教育 8/22 読書活動 9/2 ビブリオバトル



(こちらから申込み可能です)